

所 管 事 項 調 査 ②

目 次	ページ
1 桜馬場中・片淵中・長崎中の統合について	2 ～ 16
2 大浦中の梅香崎中への統合について	17 ～ 27
3 令和 7 年度全国学力・学習状況調査結果について	28 ～ 30
4 訴訟の現況について	31

教 育 委 員 会
令 和 7 年 9 月

桜馬場中・片淵中・長崎中の統合について

1 概要

桜馬場中の施設の老朽化、片淵中の小規模化、長崎中の小規模化と施設の老朽化という課題を解決するため、一段階目として令和11年4月1日に、片淵中の場所で桜馬場中と片淵中を統合し、桜馬場中跡地に新校舎を建設したのち、二段階目として令和16年4月1日に、桜馬場中跡地に建設した新校舎で、一段階目で統合した中学校と長崎中を統合するもの。

2 桜馬場中・片淵中・長崎中の生徒数等

(1) R7年度の生徒数及び学級数

令和7年5月1日現在

学校名	区分	通常学級			計	特別支援 学級	合計
		1年	2年	3年			
桜馬場中	生徒数	114	117	126	357	26	383
	学級数	4	3	4	11	4	15
片淵中	生徒数	23	27	28	78	5	83
	学級数	1	1	1	3	1	4
長崎中	生徒数	68	45	67	180	5	185
	学級数	2	2	2	6	3	9

(2) 生徒数及び学級数の推移

各年5月1日時点

学校名	区分	R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7	
		通常	特支	通常	特支	通常	特支	通常	特支	通常	特支	通常	特支	通常	特支
桜馬場中	生徒数	427	17	424	13	424	12	393	17	380	24	371	23	357	26
	学級数	13	4	13	3	12	3	12	3	12	4	12	4	11	4
片淵中	生徒数	110	6	120	4	127	4	135	9	109	7	94	9	78	5
	学級数	4	3	4	2	5	2	6	2	4	2	3	2	3	1
長崎中	生徒数	189	3	187	6	191	8	185	10	184	8	167	9	180	5
	学級数	6	1	6	2	6	2	6	2	6	2	6	3	6	3

(3) 将来推計並びに統合後の生徒数及び学級数

各年5月1日時点

学校名	年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
桜馬場中	生徒数	365	346	334	338	376	382	354	319	305
	学級数	12	10	10	10	11	12	10	9	9
片淵中	生徒数	90	96	103	99	93	89	83	74	73
	学級数	3	4	3	3	3	3	3	3	3
長崎中	生徒数	182	196	197	187	186	179	169	161	164
	学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6
統合後の生徒数					437	469	471	437	393	542
統合後の学級数					13	13	14	13	11	16

「桜馬場中+片淵中」

↑「(桜馬場中+片淵中)+長崎中」

(4) 校地及び建物の状況

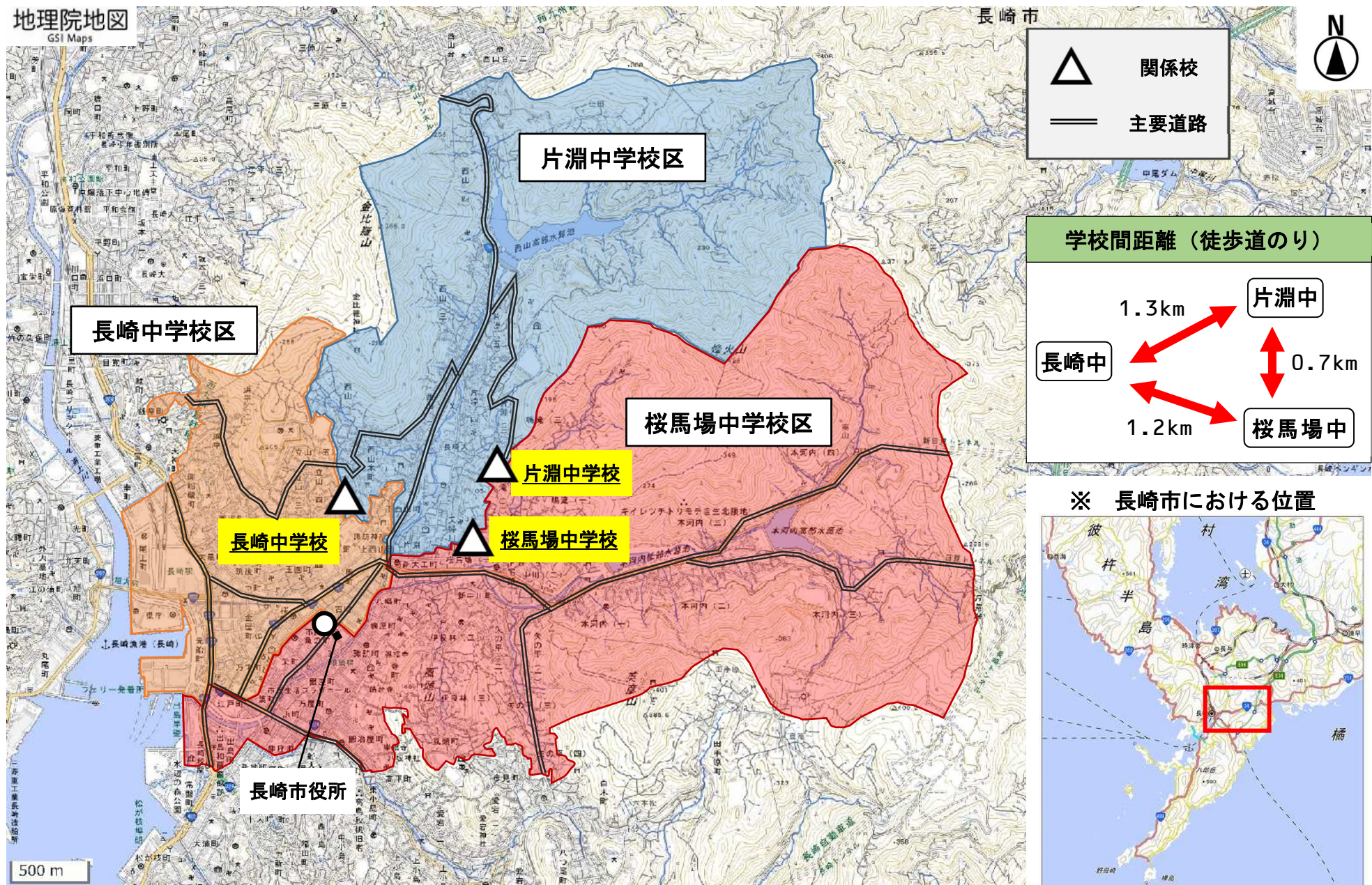
令和7年5月1日現在

学校名	建物敷地	運動場	その他法面等	合 計
桜馬場中	10,486 m ²	9,116 m ²	2,734 m ²	22,336 m ²
片淵中	10,720 m ²	10,216 m ²	6,829 m ²	27,765 m ²
長崎中	4,301 m ²	8,725 m ²	6,635 m ²	19,661 m ²

令和7年5月1日現在

学校名	校 舎 等			体 育 館		
	構造（主な建物）	延床面積	建設年月	構造（主な建物）	延床面積	建設年月
桜馬場中	鉄筋コンクリート造3階建	6,625 m ²	S28.1	鉄骨造平屋建	1,332 m ²	S41.3
片淵中	鉄筋コンクリート造3階建	5,148 m ²	H15.3	鉄筋コンクリート造平屋建	1,170 m ²	H15.3
長崎中	鉄筋コンクリート造4階建	4,421 m ²	S45.3	鉄筋コンクリート造3階建	862 m ²	S46.3

3 桜馬場中・片淵中・長崎中の通学区域



4 統合方針（当初案）と（変更案）及び変更理由

統合方針（当初案）

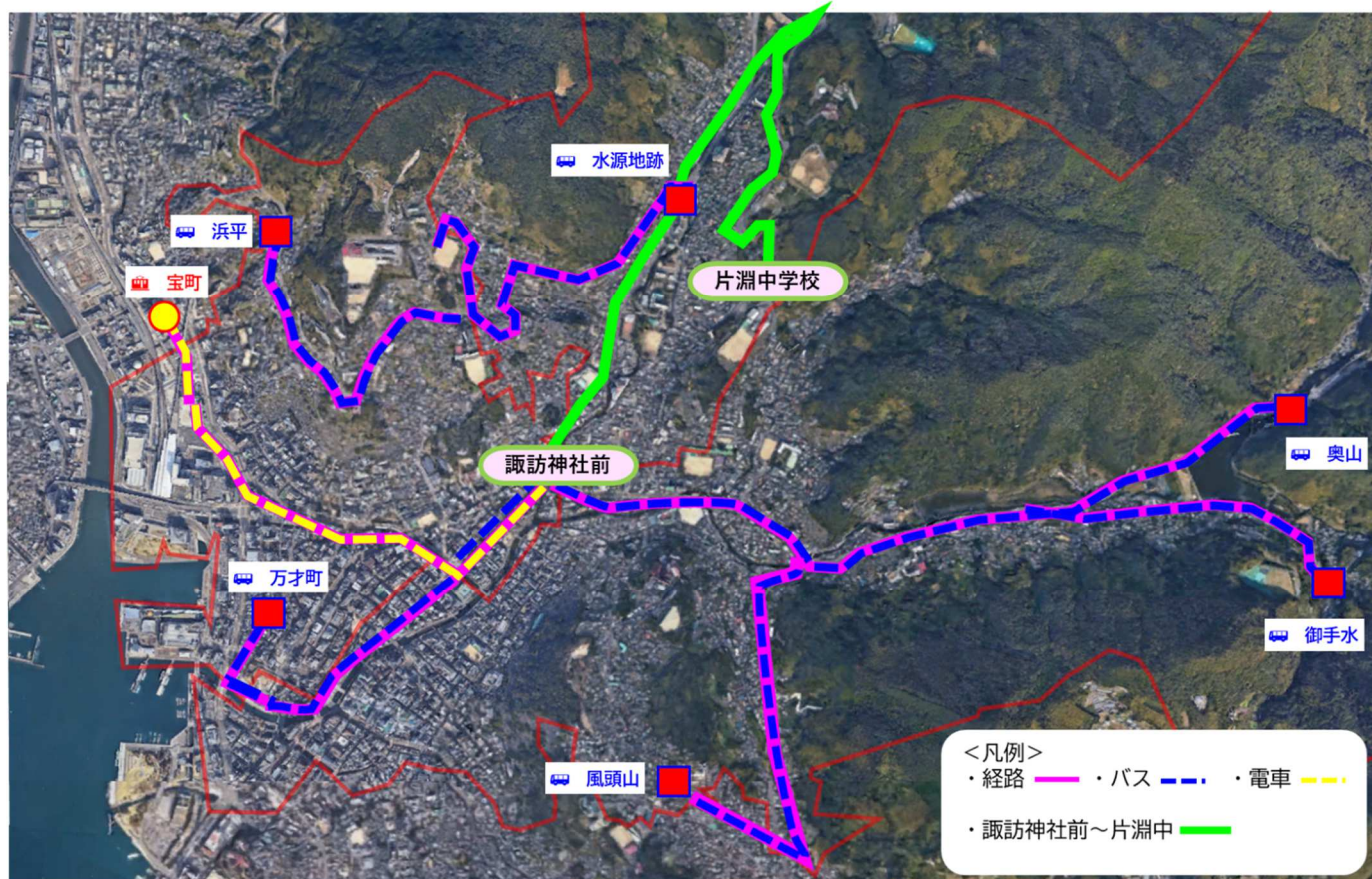
項目	当初案
(1) 統合する形態	3校を廃止し、1校を新設統合する
(2) 統合する時期	令和10年4月1日予定とする
(3) 統合後の学校の位置	桜馬場中の敷地とする
(4) 統合後の学校名	新しい中学校名とする
(5) 統合後の校舎等	桜馬場中の敷地に新しい校舎等を建設する
(6) 建設工事期間中	[令和10年度～14年度] 片淵中（仮設校舎含む）を仮校舎として利用する

⇒ 各中学校区で実施した説明会において、3校統合により校区が広域になること、また、学校間の高低差があることから、特に片淵中仮校舎期間の通学の負担に関するご意見が多数出された



第1回 統合検討会（R5.10.17）で出された主な意見と対応結果

- 片淵中仮校舎期間は、スクールバスによる通学を標準とするべき
- 西山木場に向かうバスについて、途中、片淵中を経由するよう県営バスと交渉してほしい



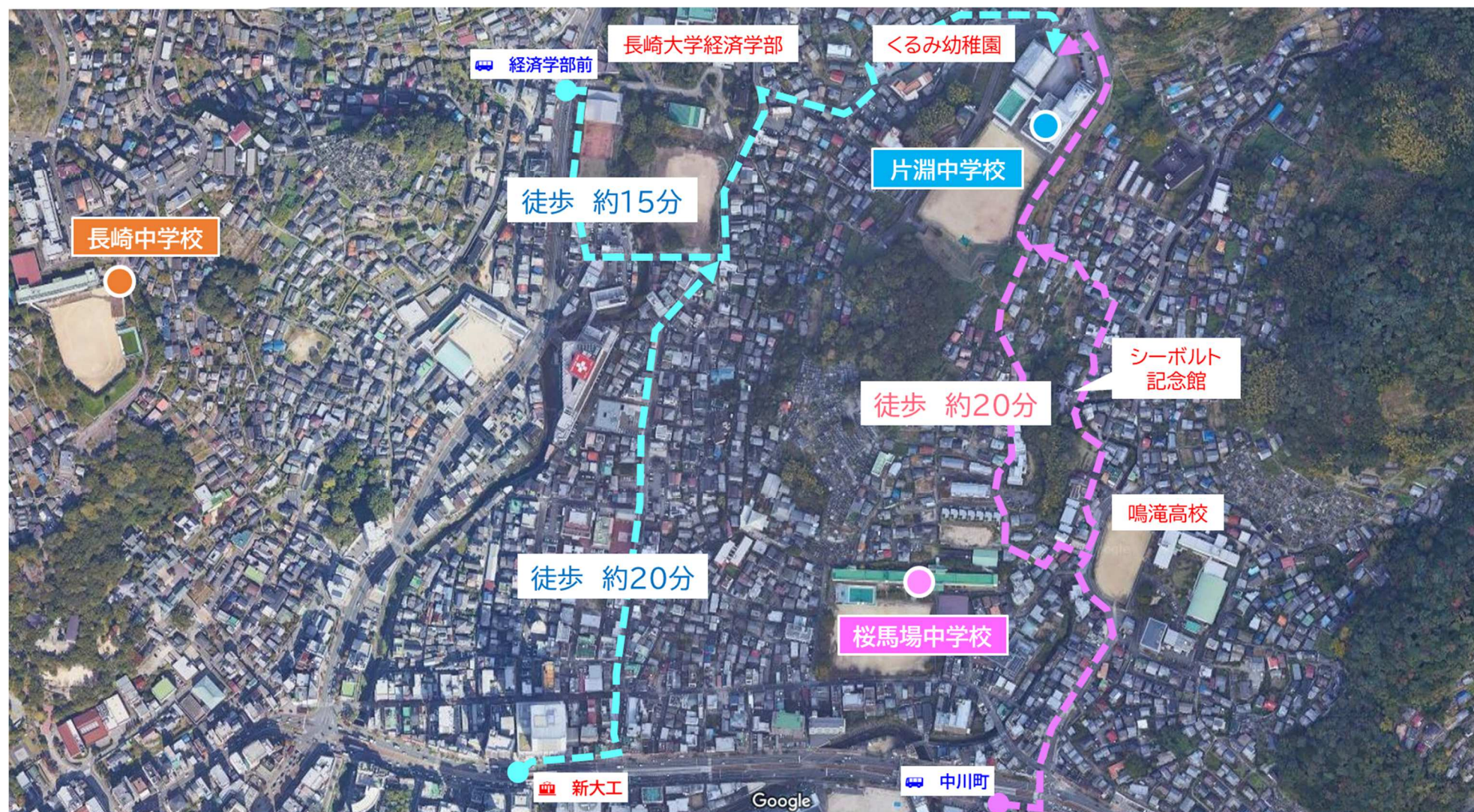
スクールバスの運行について県営バスとの協議結果

将来的にも現状の運転手数を確保出来た場合

「登校時は既存路線の延伸等で1～3便、下校時は17時以降の既存路線を片淵中経由とすることで2～3便は対応可」

▶上記便数では、利用が想定される桜馬場中校区、長崎中校区の生徒全員の乗車は困難

(参考) 最寄りのバス停等からの徒歩ルート



検討結果まとめ

- ・スクールバスの運行は、将来的な運転手の確保が前提条件
- ・スクールバスが運行できたとしても、利用が想定される桜馬場中校区と長崎中校区の生徒全員の乗車は困難
- ・スクールバスが運行できない場合、最寄りのバス停等から徒歩通学となり、特に長崎中校区の生徒の通学負担が大きい
- ・片淵中については、早期の適正規模化が必要
- ・桜馬場中の建替えは必要であり、工事の影響を最小限に抑えたい

統合方針（変更案）

項目	当初案	変更案
(1) 統合する形態	3校を廃止し、1校を新設統合する	3校を廃止し、1校を新設統合する
(2) 統合する時期	令和10年4月1日予定とする	①令和11年4月1日 「桜馬場中+片淵中」 ②令和16年4月1日 「(桜馬場中+片淵中)+長崎中」を予定とする
(3) 統合後の学校の位置	桜馬場中の敷地とする	桜馬場中の敷地とする
(4) 統合後の学校名	新しい中学校名とする	新しい中学校名とする ※①の段階で新しい学校名に変更する
(5) 統合後の校舎等	桜馬場中の敷地に新しい校舎等を建設する	桜馬場中の敷地に新しい校舎等を建設する
(6) 建設工事期間中	[令和10年度～14年度] 片淵中（仮設校舎含む）を仮校舎として利用する	[令和11年度～15年度] 片淵中（仮設校舎含む）を仮校舎として利用する

5 要望書（同意書）

長崎市教育長 西本 徳明 様

長崎市立桜馬場中・片瀬中・長崎中の統合について

日頃より、子どもたちのためにご尽力いただき、ありがとうございます。

さて、桜馬場中・片瀬中・長崎中の統合につきましては、市教育委員会による各校区での説明会
で出された意見を踏まえ、協議を行ってきましたが、この度、市の統合方針(案)のとおり、3中学校
の統合を進めていくことについて、妥当と判断し、統合検討会として賛成する結論に至りました。

つきましては、次に示す統合の方針に沿って手続きを進めていただくようお願いいたします。

また、今回の統合を進めるにあたり、要望いたしますのでよろしくお願い計らいください。

1 統合の方針

(1) 統合の形態

桜馬場中・片瀬中・長崎中の3つの中学校を廃止し、新たに1つの新設校を設置する新設統
合とするが、桜馬場中敷地における新設校建設期間中の生徒の通学等の負担軽減を図る目
的から、二段階での統合を行う。

(2) 統合の時期・学校の位置・学校名

令和11年4月に、片瀬中を仮校舎として、桜馬場中と片瀬中を統合し、同時に新しい学校名
に変更する。

桜馬場中の場所に新しい校舎等が完成したのち、令和16年4月に桜馬場中と片瀬中を統合
した学校を移転し、長崎中を統合する。

2 要望事項

(1) 遠距離通学の負担軽減について

通学費補助制度については、市街地の約7割が斜面地である状況を踏まえ、高低差を加
味した制度とすること。

また、片瀬中仮校舎期間中のスクールバス運行については、交通事業者の運転手不足等
の課題があることは認識しているが、今後とも、スクールバス運行の実現に向けて、交通事業
者との協議を継続して行うこと。

(2) 通学時の安全確保について

通学経路については、保護者等の意見も踏まえ、生徒が安全に通学することが出来るよう
必要な対策を講じること。

(3) 跡地活用について

3中学校の統合決定後は、地元と市関係課の間で速やかに廃校後の跡地活用についての
協議を開始できるよう配慮すること。

特に、片瀬中の校舎等については築浅であり、建物も含めた活用を検討する必要があると
思われるため、その点についても考慮すること。

令和 7 年 7 月 23 日



伊良林校区連合自治会長

金谷繁臣

桜馬場中学校 PTA 会長

福澤 照亮

唐屋地区自治団体連合会長

吉原 孝

伊良林小学校 PTA 会長

渡邊 慎太郎

新興善地区連合自治会長

中川 進吾

諏訪小学校育成会長

石橋 雄介

上長崎地区自治会連合会長

浦川 勲

片瀬中学校 PTA 会長

平野 和紀

上長崎地区自治会協議会長

青木 勇

上長崎小学校育友会長

林 淳平

上長崎地区コミュニティ協議会長

浦川 基継

長崎中学校育成会長

中山 大

桜町地区連合自治会長

松下 隆

桜町小学校 SST 会長

香川 明世

西坂地区連合自治会長

菊野 寛史

西坂小学校育英会長

矢野 純

6 統合検討会の開催状況

※統合検討会メンバー16名

- ・伊良林校区連合自治会長・磨屋地区自治団体連合会長・新興善地区連合自治会長・上長崎地区連合自治会長
- ・上長崎地区自治会協議会長・上長崎地区コミュニティ協議会長・桜町地区連合自治会長・西坂地区連合自治会長
- ・桜馬場中学校 PTA 会長・伊良林小学校 PTA 会長・諏訪小学校育成会長・片淵中学校 PTA 会長・上長崎小学校育友会長
- ・長崎中学校育成会長・桜町小学校 SST 会長・西坂小学校育英会長

(1) 第1回

- ・日 時：令和5年10月17日19時～
- ・場 所：市役所 2F 市民利用会議室
- ・議 題：R5.8月に開催した各中学校区での説明会時に出された意見を基に整理した課題の共有
- ・結 果：「特に長崎中学校区の斜面地に居住する生徒については、片淵中までの高低差による通学の負担が大きいため、片淵中仮校舎期間は、スクールバスによる通学を標準とするべき」、「通学費補助について高低差も考慮できないか」等の意見が出された。

(2) 第2回

- ・日 時：令和7年1月27日19時～
- ・場 所：市役所 2F 市民利用会議室
- ・議 題：統合方針（変更案）について説明
- ・結 果：統合方針（変更案）について了承された。

(3) 第3回

- ・日 時：令和7年7月16日19時～
- ・場 所：市役所 13F 中会議室
- ・議 題：要望書（同意書）の内容確認及び新しい校名（案）の募集・選定方法
- ・結 果：要望書（同意書）の内容確定。新しい校名（案）の募集・選定方法について、投票の方法等の意見が出された。

7 保護者及び地域との協議等経過抜粋

日 付	概 要
平成 30 年 5 月 23 日	第 1 回 関係校保護者代表者（3 中 5 小）との意見交換 ⇒「子どもたちのことを第一に進めてほしい」、「実際に生徒が減ってきている。スピード感をもって取り組んでほしい」等の意見が出された。
平成 30 年 6 月 21 日	社会福祉協議会桜町支部との意見交換 ⇒「統合の話し合いが長引けば、影響を受けるのは子ども達であるため、早く結論を出すべき」等の意見が出された。
平成 30 年 7 月 2 日	上長崎地区自治会協議会との意見交換 ⇒「桜馬場中の建て替え時の仮校舎はどうするのか」、「片淵中を増築して、他の 2 校を受け入れてはどうか」等の意見が出された。
平成 30 年 7 月 4 日	上長崎地区自治会連合会との意見交換 ⇒「少子化を踏まえて、片淵中と桜馬場中の 2 校統合ではなく、長崎中も含めた 3 校統合を行うべき」等の意見が出された。
平成 30 年 7 月 24 日	西坂地区自治会連合会との意見交換 ⇒「校区の見直しで対応できないのか」等の意見が出された。
平成 30 年 8 月 6 日	第 2 回 関係校保護者代表者（3 中 5 小）との意見交換 ⇒「関係する各校でアンケートを実施してはどうか」等の意見が出された。
平成 30 年 11 月 20 日	第 3 回 関係校保護者代表者（3 中 5 小）との意見交換 各校で実施したアンケート結果（回答率 68.4%、回答数 1,496 件）を報告。 回答者の約 54%から「3 中学校の統合は必要と思う」との回答があった。 ⇒校名や統合先、統合形態などの課題が浮かび上がった。

日 付	概 要
平成 31 年 2 月 13 日	第 4 回 関係校保護者代表者（3 中 5 小）との意見交換 ⇒当該地区における生徒数の減少を勘案し、桜馬場中、片淵中、長崎中の 3 校について、最終的に 1 校（桜馬場中の場所）へ統合することを視野に、引き続き協議を行うこととなった。
令和元年 7 月 24 日	第 5 回 関係校保護者代表者（3 中 5 小）との意見交換 ⇒桜馬場中の場所で 3 校が同時に統合することを前提として、地区ごとに協議を行うこととなった。
令和 5 年 3 月 17 日	関係校保護者代表者（3 中 5 小）事前打ち合わせ <u>教育委員会より統合方針（案）を説明</u> ⇒「統合については、教育委員会が主導して、スピード感をもって進めてほしい」、「統合を進めるのであれば、通学費補助等も考えてほしい」、「子ども達も統合に向けたプロセスに参加させるなど、成長につながるような取り組みを行ってほしい」等の意見が出された。
令和 5 年 6 月 8 日	コアメンバー会議（関係校地域代表者及び保護者代表者） <u>教育委員会より統合方針（案）を説明</u> ⇒統合に反対意見なし。中学校区ごとに説明会を開催し、意見聴取を行うこととなった。
令和 5 年 8 月 4 日	片淵中学校区説明会 ⇒「校名はどうするのか」、「統合後の通学の負担は解消できるのか」、「跡地活用の計画はあるのか」等の意見が出された。
令和 5 年 8 月 7 日	長崎中学校区説明会 ⇒「通学の負担を考慮すれば、新設校が完成した後に長崎中を統合した方がいいのではないか」、「跡地はどのように活用されるのか」等の意見が出された。
令和 5 年 8 月 21 日	桜馬場中学校区説明会 ⇒「通学費補助については、高低差も考慮すべき」、「統合に向けたプロセスに、子ども達も関わらせてほしい」等の意見が出された。

日 付	概 要
令和 5 年 10 月 17 日	第 1 回 統合検討会 R5. 8 月に開催した各中学校区での説明会時に出された意見を基に整理した課題の共有 ⇒「通学費補助について高低差も考慮できないか」、「特に長崎中校区の斜面地に居住する生徒については、片淵中までの高低差による通学の負担が大きい」等の意見が出された。
令和 7 年 1 月 27 日	第 2 回 統合検討会 <u>教育委員会より統合方針（変更案）を説明</u> ⇒統合方針（変更案）について了承された。
令和 7 年 3 月 23 日	西坂小保護者説明会 ⇒「変更案については、通学の負担が当初案より軽減されており、長崎中校区の子ども達にとってとても良い案」、「長崎中は後からの統合になるため、桜馬場中、長崎中と交流する機会を設けてほしい」等の意見が出された。
令和 7 年 4 月 30 日	伊良林小 PTA 総会 ⇒意見等、特になし。
令和 7 年 5 月 9 日	上長崎小 PTA 総会 ⇒意見等、特になし。
令和 7 年 7 月 16 日	第 3 回 統合検討会 要望書（同意書）の内容確認及び新しい校名（案）の募集・選定方法 ⇒当日の出席者から要望書（同意書）への署名をいただくとともに、新しい校名（案）の募集・選定方法について、投票の方法等の意見が出された。

8 新校名選定

桜馬場中・片淵中・長崎中の統合について

新校名決定までの流れ

桜馬場中学校、片淵中学校、長崎中学校の統合に向けて、今後、統合後の新しい校名の選定作業を進めてまいります。選定にあたっての流れを次のとおりまとめましたのでご参照ください。（日程は現時点での予定です）

校名選定の流れ

1 2025年
9月10日
⇒10月10日 校区内の世帯から校名（案）の候補を募集します
※電子申請による応募を基本としますが、ふれあいセンター等での紙応募も受け付けます

統合検討会で 数案に絞り込み

2 2025年
12月10日
⇒2026年
1月9日 校区内の自治会加入世帯と関係小中学校の保護者世帯で投票を行います
※1世帯あたり1票で投票を行い、最多得票の校名に決定します

3 2026年
3月下旬 開票結果をお知らせします
※自治会回覧や学校経由のデータ配信でお知らせします



問い合わせ 長崎市教育委員会適正配置推進室
e-mail: tekiseihaichi@city.nagasaki.lg.jp

→ 裏面に続きます

募集にあたって

新しい校名を考えるにあたって、守っていただく6つのルールをまとめました。応募にあたって、この点を守っていただくようお願いします。

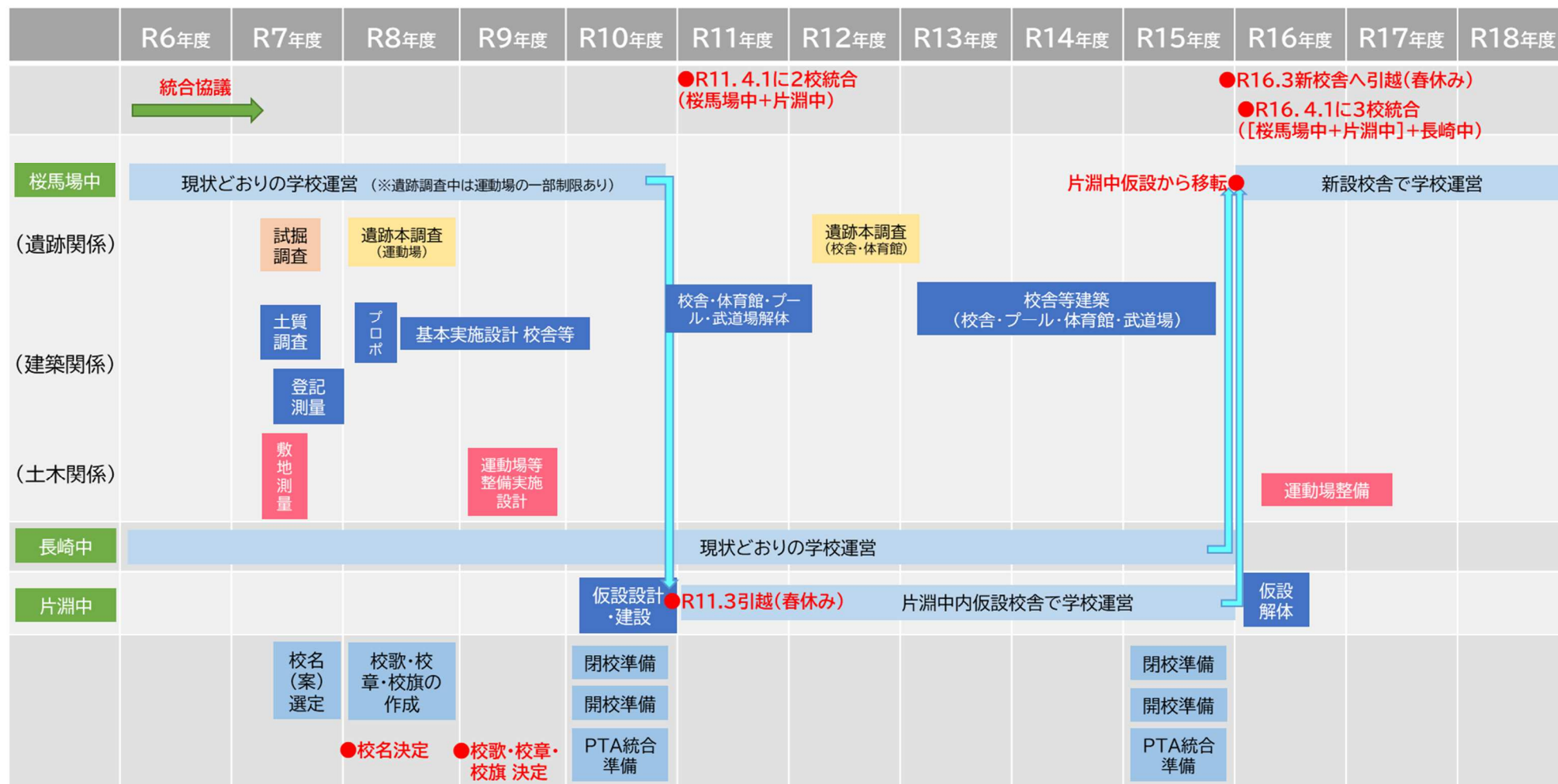
- 1 「桜馬場」、「片淵」、「長崎」を単体で使ったものではないこと**
- 2 児童生徒、保護者、地域住民に親しみやすく広く受け入れやすいこと**
- 3 3中学校区の地理的または文化的な印象を感じさせるものであること**
- 4 県内に類似の校名がなく、他校と誤解されることがないこと**
- 5 漢字、ひらがな、カタカナで表記され、読み書きが容易であること**
- 6 長崎市立●●中学校の「●●」の部分は概ね6文字以内とすること**

その他



投票対象とする校名（案）の候補には、校区内の各世帯から募集したもののほか、3つの中学校の生徒の皆さんが中心となって考えたものも数案を加える予定です。

9 今後の予定 (1)



※試掘調査の結果によって、遺跡本調査があると仮定し、本調査期間を1年間として仮置きしている。
 ※遺跡本調査に必要な期間次第でプロポーザル以降のスケジュールが前後する。

今後の予定（２）

	R7年度							R8年度		
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
桜馬場 片淵 長崎	校名候補（案）募集 9/10-10/10	校名（案）絞込 10月末（統合検討会）	校名（案）投票 12/10-1/9			校名（案）選定 2月上旬（統合検討会）	校名（案）周知 3月下旬			
	★9月議会 （所管事項調査）	●通学区域審議会 10月（諮問）→11月（答申）		◆12月教委定例会 （報告）通学審結果			◆3月教委定例会 （議案）3校廃止・1校新設		◆5月教委定例会 （議案）意見申出	★6月議会 （条例改正）

大浦中の梅香崎中への統合について

1 概要

小規模化が進行している大浦中を令和 10 年 4 月 1 日に梅香崎中に統合するもの。

2 大浦中・梅香崎中の生徒数等

(1) R 7 年度の生徒数及び学級数

令和 7 年 5 月 1 日現在

学校名	区分	通常学級			計	特別支援 学級	合計
		1 年	2 年	3 年			
大浦中	生徒数	25	31	27	83	8	91
	学級数	1	1	1	3	2	5
梅香崎中	生徒数	47	65	62	174	7	181
	学級数	2	2	2	6	2	8
小島中	生徒数	99	98	85	282	20	302
	学級数	3	3	3	9	4	13

(2) 生徒数及び学級数の推移

各年 5 月 1 日時点

学校名	区分	R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7	
		通常	特支	通常	特支	通常	特支	通常	特支	通常	特支	通常	特支	通常	特支
大浦中	生徒数	97	3	95	5	105	3	99	6	90	8	78	12	83	8
	学級数	3	2	3	2	4	2	4	2	4	2	3	2	3	2
梅香崎中	生徒数	217	7	207	6	200	4	195	2	184	6	191	8	174	7
	学級数	7	3	7	3	6	2	6	2	6	3	6	2	6	2
小島中	生徒数	310	10	292	6	301	18	283	14	271	17	270	17	282	20
	学級数	9	2	9	2	10	3	9	3	9	4	9	4	9	4

(3) 将来推計並びに統合後の生徒数及び学級数

各年5月1日時点

学校名	年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
大浦中	生徒数	93	90	87	95	85	89	69	65	58
	学級数	3	3	3	4	3	3	3	3	3
梅香崎中	生徒数	179	161	176	159	151	142	135	137	113
	学級数	6	6	6	6	6	6	6	5	4
統合後の生徒数				263	254	236	231	204	202	171
統合後の学級数				9	9	8	8	7	7	6

小島中	生徒数	298	289	286	280	267	249	255	233	215
	学級数	9	9	9	9	9	9	9	8	7

(4) 校地及び建物の状況

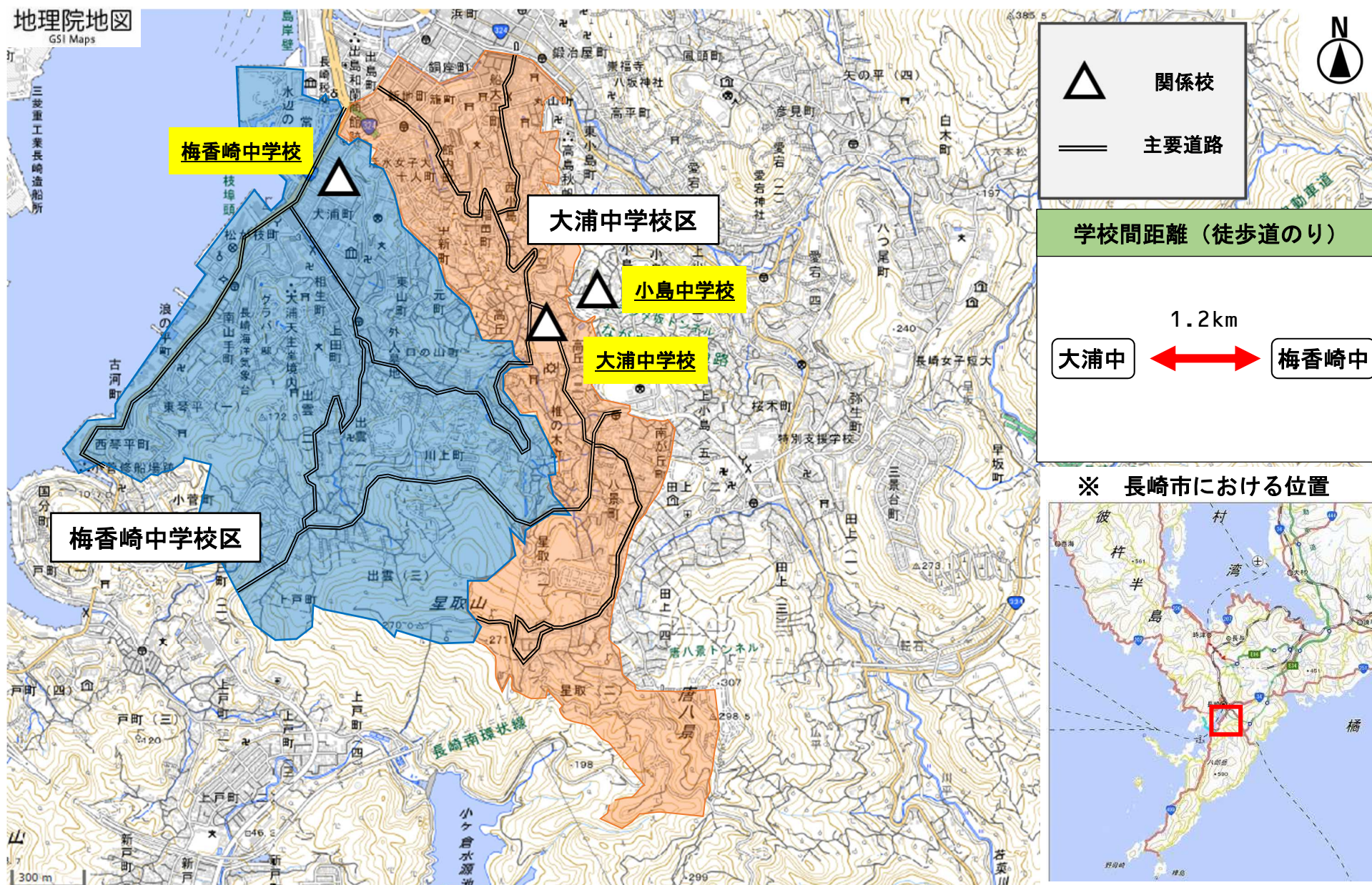
令和7年5月1日現在

学校名	建物敷地	運動場	その他法面等	合 計
大浦中	6,554 m ²	9,086 m ²	3,777 m ²	19,417 m ²
梅香崎中	5,720 m ²	5,609 m ²	1,943 m ²	13,272 m ²
小島中	5,189 m ²	3,440 m ²	3,988 m ²	12,617 m ²

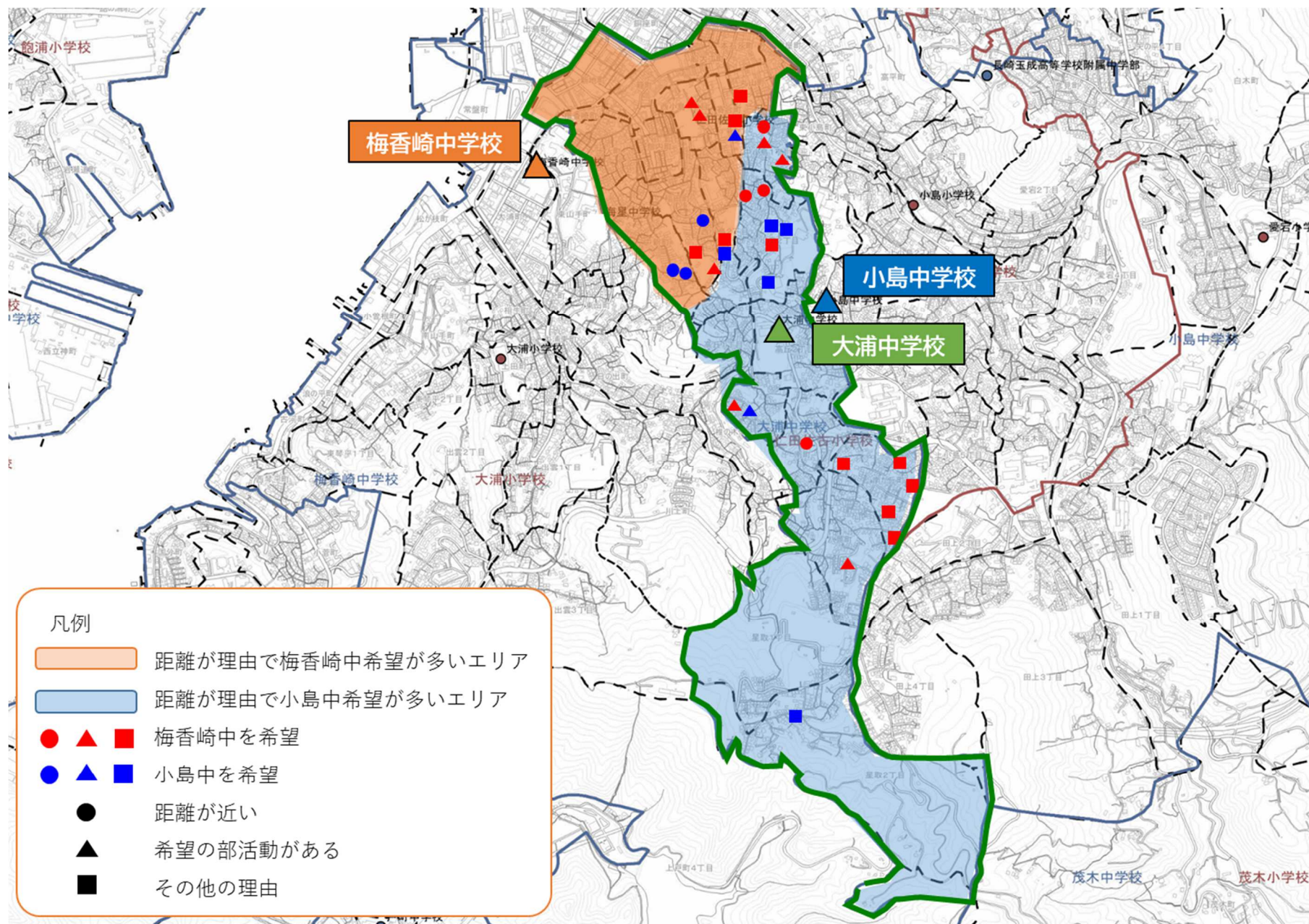
令和7年5月1日現在

学校名	校 舎 等			体 育 館		
	構造（主な建物）	延床面積	建設年月	構造（主な建物）	延床面積	建設年月
大浦中	鉄筋コンクリート造3階建	4,895 m ²	S35.3	鉄骨造2階建	971 m ²	S52.3
梅香崎中	鉄筋コンクリート造4階建	5,965 m ²	S32.3	鉄筋コンクリート造平屋建	984 m ²	H7.3
小島中	鉄筋コンクリート造4階建	5,695 m ²	S36.12	鉄筋コンクリート造2階建	1,139 m ²	H14.3

3 大浦中・梅香崎中の通学区域

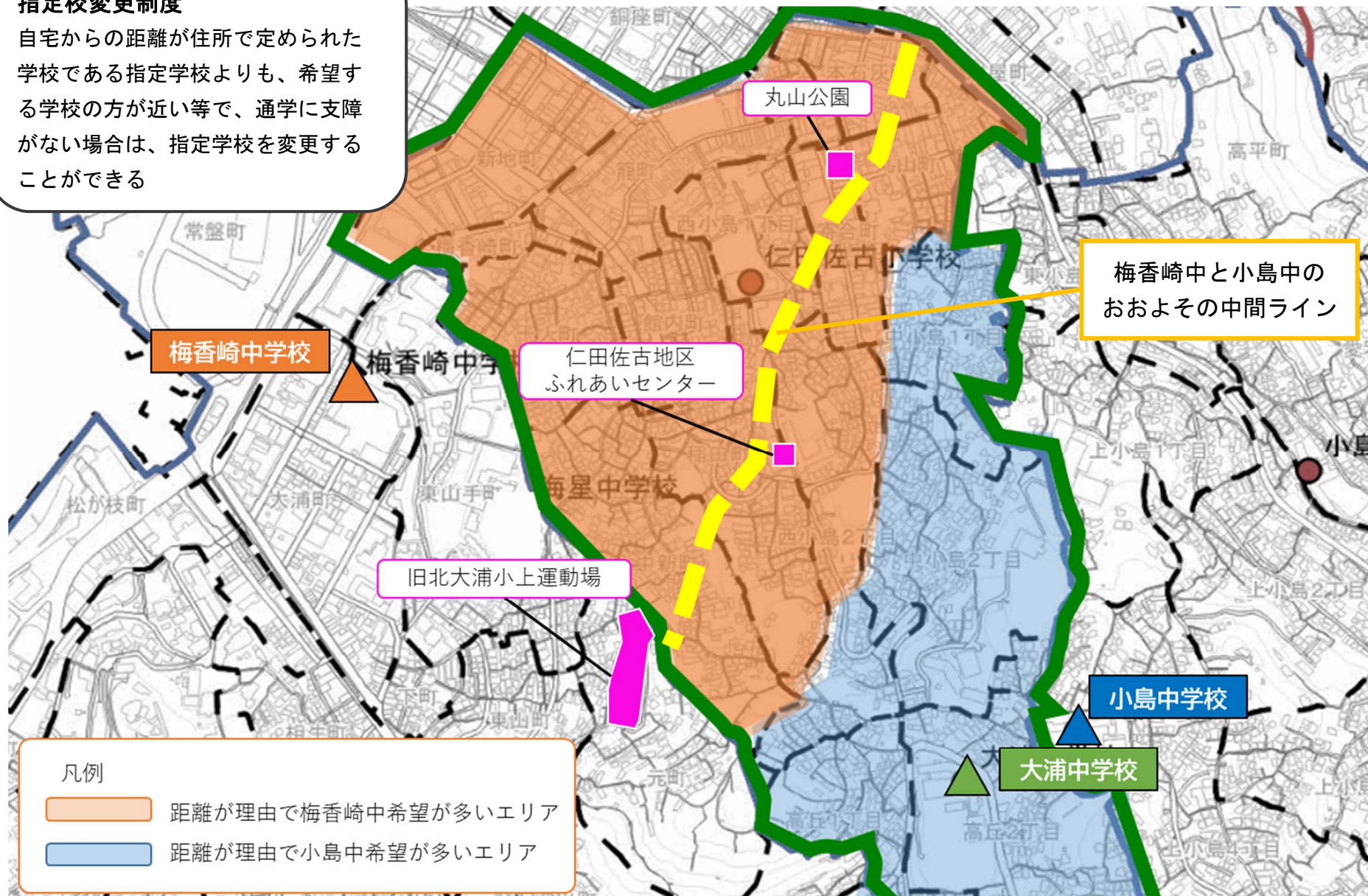


4 希望する就学先



指定校変更制度

自宅からの距離が住所で定められた学校である指定学校よりも、希望する学校の方が近い等で、通学に支障がない場合は、指定学校を変更することができる



5 要望書（同意書）

長崎市教育長 西本 徳明 様

長崎市立大浦中学校の統合について

日頃より、子どもたちのためにご尽力いただき、ありがとうございます。

さて、大浦中学校の統合につきましては、保護者及び地域の代表者による協議を重ねるとともに、保護者や地域住民を対象とした説明会を行っていただきました。この度、大浦中学校を就学先とする仁田佐古小学校の保護者に対するアンケートの結果等も考慮し、統合先を梅香崎中学校とすることについて、妥当と判断し、統合検討会として賛成する結論に至りました。

つきましては、次に示す統合の方針に沿って手続きを進めていただくようお願いいたします。

また、この統合にあたり、併せて要望いたしますのでよろしくお取り計らいください。

1 統合の方針

令和 10 年4月1日に大浦中学校を梅香崎中学校へ統合する。

2 要望事項

(1) 指定校変更制度について

指定校変更制度は、入学時にのみ利用できる制度となっているが、統合という特殊事情を踏まえて、在校生等も対象とすること。

(2) 通学時の安全確保について

通学経路については、保護者等の意見も踏まえて、生徒が安全に通学できるよう、必要な対策を講じること。

(3) 通学の負担軽減について

大浦中学校区の大半が斜面地である現状を踏まえて、高低差を考慮した通学費補助制度を導入すること。

(4) 跡地の活用について

大浦中学校の統合決定後は、地元と市関係課の間で速やかに廃校後の跡地活用について協議を開始すること。

令和 7 年 8 月 7 日



佐古地区連合自治会長

山口広助

大浦中学校 PTA 会長

松本亜知子

仁田地区連合自治会長

梶田修也

仁田佐古小学校 PTA 会長

田代直樹

十善寺地区連合自治会長

河原廣行

大浦中学校同窓会長

平山繁雄

東大浦地区連合自治会長

上川剛史

大浦中学校区青少年育成協議会長

今村哲也

6 統合検討会の開催状況

※統合検討会メンバー8名

- ・佐古地区連合自治会長・仁田地区連合自治会長・十善寺地区連合自治会長・東大浦地区連合自治会長
- ・大浦中学校PTA会長・仁田佐古小学校PTA会長・大浦中学校同窓会長・大浦中学校区青少年育成協議会長

(1) 第1回

- ・日時：令和6年10月30日18時30分～
- ・場所：仁田佐古地区ふれあいセンター
- ・議題：各団体への説明時に出た意見の共有及び統合までのスケジュールについて
- ・結果：仁田佐古小保護者への説明会開催後、統合先や校区割、統合方式に関するアンケートを行うことが決定。

(2) 第2回

- ・日時：令和6年12月18日15時30分～
- ・場所：仁田佐古地区ふれあいセンター
- ・議題：仁田佐古小保護者向けアンケートの内容確認及び説明会の日程について協議
- ・結果：アンケートの内容確定。説明会の日程及び場所について決定。

(3) 第3回

- ・日時：令和7年3月12日10時～
- ・場所：仁田佐古地区ふれあいセンター
- ・議題：仁田佐古小保護者向けアンケート結果を踏まえ、統合先及び統合方式について協議
- ・結果：令和10年度に、一斉方式で梅香崎中に統合する方針で合意。

(4) 第4回

- ・日時：令和7年7月22日15時～
- ・場所：仁田佐古地区ふれあいセンター
- ・議題：要望書（同意書）の内容確認
- ・結果：要望書（同意書）の内容確定。

7 保護者及び地域との協議等経過

日 付	概 要
令和 6 年 5 月 21 日	仁田地区連合自治会長、十善寺地区連合自治会長との協議 ⇒「大浦中の校区を梅香崎中と小島中に分けるのであれば、各地区の意見を集約し校区を決めてはどうか」、「令和 9 年度に大浦中は創立 80 周年となるため、統合はその後がよい」等の意見が出された。
令和 6 年 5 月 30 日	佐古地区連合自治会長との協議 ⇒「大浦中の校区を梅香崎中と小島中に分けることについては問題ないと思う」、「生徒数の減少を鑑みれば、地域としても、大浦中の統合は止むなしという結論になるのではないか」等の意見が出された。
令和 6 年 6 月 7 日	東大浦地区連合自治会長との協議 ⇒「小島中へ統合した場合、星取地区の子ども達が梅香崎中へ指定校変更することは可能か」等の意見が出された。
令和 6 年 7 月 1 日	大浦中学校 PTA 会長との協議 ⇒「大浦中の校区を梅香崎中と小島中に分けるのか、どちらかに統合するのが一番気がかりである」等の意見が出された。
令和 6 年 7 月 4 日	仁田佐古小学校 PTA 会長との協議 ⇒「梅香崎中や小島中を大浦中へ統合した方がよいとの意見が出るかもしれない」等の意見が出された。
令和 6 年 7 月 18 日	東大浦地区連合自治会定例会で説明 ⇒「検討期間が長引かないように、今後のスケジュールを具体的に示してほしい」、「早く統合してほしいと思っている」等の意見が出された。
令和 6 年 8 月 27 日	佐古地区連合自治会長、仁田地区連合自治会長、十善寺地区連合自治会長、東大浦地区連合自治会長、大浦中学校 PTA 会長、仁田佐古小学校 PTA 会長との協議 ⇒各連合自治会及び PTA 役員へ説明を行い、課題の整理等を行った上で説明会の開催方法を検討すること、統合検討会のメンバーが決定された。

日 付	概 要
令和 6 年 9 月 12 日	大浦中学校同窓会長への説明 ⇒「統合については、個人的にはやむを得ないと考えている」等の意見が出された。
〃	大浦中学校区青少年育成協議会長への説明 ⇒「統合先の学校の建替え等は必要になるのか」等の意見が出された。
令和 6 年 9 月 17 日	大浦中学校 PTA 役員への説明 ⇒「統合となった場合、制服はどうなるのか」、「大浦中の校区を梅香崎中と小島中に分けるのは、子ども達が寂しい思いをするかもしれない」、「閉校後の跡地はどうなるのか」等の意見が出された。
令和 6 年 9 月 20 日	佐古地区連合自治会への説明 ⇒「どこで校区を分けるか等については、子ども達のことをよく考えながら検討していく必要がある」等の意見が出された。
令和 6 年 9 月 25 日	仁田地区連合自治会及び社会福祉協議会仁田支部への説明 ⇒「地域や保護者全体への説明会はいつになるのか」等の意見が出された。
令和 6 年 9 月 30 日	仁田佐古小学校 PTA 役員への説明 ⇒「統合は具体的にいつになるのか」、「校区はどのように分けるのか」、「制服はどうなるのか」等の意見が出された。
令和 6 年 10 月 30 日	第 1 回 統合検討会 各団体への説明時に出た意見の共有及び統合までのスケジュールについて協議 ⇒仁田佐古小保護者への説明会開催後、統合先や校区割、統合方式に関するアンケートを行うことが決定された。
令和 6 年 12 月 18 日	第 2 回 統合検討会 仁田佐古小保護者向けアンケートの内容確認及び説明会の日程について協議 ⇒アンケートの内容確定。説明会の日程及び場所について決定された。

日 付	概 要
令和 7 年 2 月 12 日	仁田佐古小学校保護者説明会 ⇒「指定校変更制度について、統合時に転籍となる生徒や大浦中の統合までの間に新中学 1 年生となる生徒にも適用することはできないのか」、「統合することが決まるのはいつ頃か。なるべく早くに決定してほしい」、「バスを利用して通学する場合、運賃に対する補助はあるのか」等の意見が出された。
令和 7 年 2 月 13 日 ～2 月 28 日	仁田佐古小学校保護者向けアンケート実施 回答件数 157 件/201 世帯 回答率 78.1% [① 統 合 先]・梅香崎中を希望 64 件 (41%) ・小島中を希望 79 件 (50%) ・受験等によりどちらも希望しない 14 件 (9%) [① の 理 由]・距離が近い 119 件 (83%) ・希望の部活動がある 9 件 (6%) ・その他 15 件 (11%) [②統合方式]・一斉方式（全学年一斉に統合）92 件 (64%) ・段階方式（新規入学を停止し、在校生の卒業後に統合）51 件 (36%)
令和 7 年 3 月 12 日	第 3 回 統合検討会 仁田佐古小学校保護者向けアンケート結果を踏まえ、統合先及び統合方式について協議 ⇒令和 10 年度に一斉方式で梅香崎中学校に統合する方針で合意。
令和 7 年 3 月 24 日	東大浦地区連合自治会定例会で説明 ⇒「斜面地上部に居住する生徒が、バスを利用した場合の運賃補助について検討をお願いしたい」、「閉校後の跡地活用について、統合前から検討してほしい」、等の意見が出された。
令和 7 年 4 月 28 日	仁田佐古小学校 PTA 総会で説明 令和 10 年度に、一斉方式で梅香崎中学校に統合する方針を説明 ⇒意見等、特になし。
令和 7 年 7 月 22 日	第 4 回 統合検討会 要望書（同意書）の内容について協議 ⇒要望書（同意書）の内容確定。

8 今後の予定

	R7年度						
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大浦	★9月議会 (所管事項調査)	●通学区域審議会 10月(諮問) → 11月(答申)		◆12月教委定例会 (報告) 通学審結果 (議案) 大浦中の廃止	◆1月教委定例会 (議案) 意見申出	★2月議会 (条例改正)	

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果について

(1) 調査の概要

ア 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組みを通じて教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

イ 調査内容

(ア) 教科に関する調査

○ 小学校 … 国語、算数、理科

○ 中学校 … 国語、数学、理科(CBT方式) ※CBT方式とは、一人一台端末を使用してオンラインで出題・解答を行う方式

(イ) 質問紙調査

○ 児童生徒に対する調査 … 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

○ 学校に対する調査 … 指導方法に関する取組みや学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

ウ 調査期日 令和7年4月17日(木)(中学校理科は4月14日～4月17日)

エ 調査実施校数及び児童生徒数

(ア) 実施校数 101校 【調査対象者の在籍する学校の総数】 (小学校：65校、中学校：36校)

(イ) 参加児童・生徒数

・ 小学校6年生 2,787人 ・ 中学校3年生 2,484人

オ 調査結果の取扱いについて

(ア) 「学力調査結果の概要」、「児童生徒質問紙調査結果の概要」、「市全体の平均正答率」、「改善の方向性」については、各学校に周知を行う。

(イ) 長崎市として、個々の学校名を明らかにした結果の公表は行わない。

(ウ) 各学校は、自校の分析結果を踏まえた改善方策の公表を行う。原則として、数値による公表は行わない。

(2) 結果の概要

学力調査結果の概要（「長崎市及び県・全国の平均正答率」、「全国との差」）

		小 学 校 6 年			中 学 校 3 年		
		国語	算数	理科	国語	数学	理科
R 7	長崎市の正答率	68	57	58	53	44	492
	県の正答率	66	56	57	54	46	498
	全国の正答率	67	58	57	54	48	503
	全国との差	1	-1	1	-1	-4	-11

※ 中学校理科はIRTスコア

IRTスコアとは、各問題の難易度などから学力を推定し、500点を基準とする方式

今回の-11という数字は、国語や数学の結果と同様に考えると、おおよそ-1程度に相当

<参考> 前回の学力調査結果(国語と算数・数学はR6、理科はR4)

		小 学 校 6 年			中 学 校 3 年		
		国語	算数	理科(R4)	国語	数学	理科(R4)
R 6 R 4	長崎市の正答率	67	63	63	56	48	48
	県の正答率	67	62	62	56	49	48
	全国の正答率	68	63	63	58	53	49
	全国との差	-1	0	0	-2	-5	-1

○ 本市の平均正答率については、調査2項目(小学校：国語・理科)において全国を上回り、調査4項目(小学校：算数、中学校：国語・数学・理科)において全国を下回った。

○ 全国との差を前回(令和6年度、令和4年度)と比較した結果は次のとおりである。

- ・小学校国語 -1から1となり、2ポイント改善が見られ、全国平均を上回った。
- ・小学校算数 0から-1となり、1ポイント下回った。
- ・小学校理科 0から1となり、1ポイント改善が見られ、全国平均を上回った。(R4との比較)
- ・中学校国語 -2から-1となり、1ポイント改善が見られた。
- ・中学校数学 -5から-4となり、1ポイント改善が見られた。

○ 学力調査の結果に見られる本市児童生徒の各教科における課題は次のとおりである。

- ・小学校国語 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけること。
- ・小学校算数 分数の加法について、単位分数の幾つ分かを説明すること。
- ・小学校理科 金属について、電気を通すもの、磁石に引き付けられるものがあることの知識。
- ・中学校国語 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えること。
- ・中学校数学 式の意味を読み取り、数学的な表現を用いて説明すること。
- ・中学校理科 実験を選択し、予想される結果について説明すること。

令和7年度 全国学力学習状況調査 学習状況や生活習慣の調査結果の概要(児童生徒質問紙調査からの抜粋)

特徴的な項目について(※ 全国との差が0以上は○、－は△、＋1.0以上の場合◎と評価)

	質 問 項 目	小 学 校			中 学 校				質 問 項 目	小 学 校			中 学 校						
		評価	令和7年度	差	評価	令和7年度	差			評価	令和7年度	差	評価	令和7年度	差				
1	朝食を毎日食べている	○	全国 市	93.7 94.0	0.3	◎	全国 市	91.2 92.6	1.4	9	人の役に立つ人間になりたい	◎	全国 市	96.4 97.6	1.2	◎	全国 市	96.6 98.0	1.4
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	◎	全国 市	81.9 84.7	2.8	◎	全国 市	81.0 84.7	3.7	10	学校の授業時間以外に普段(月～金)1日当たり1時間以上勉強する	○	全国 市	54.0 54.8	0.8	△	全国 市	61.6 52.4	-9.2
3	毎日、同じくらいの時刻に起きている	○	全国 市	91.0 92.0	1.0	◎	全国 市	92.6 94.4	1.8	11	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	◎	全国 市	81.3 82.7	1.4	○	全国 市	75.3 75.5	0.2
4	授業以外で、普段(月曜日から金曜日)、スマートフォンやコンピューターなどのICT機器を、勉強のために使っている(1時間以上)	◎	全国 市	19.6 23.8	4.2	△	全国 市	13.7 13.6	-0.1	12	授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用している(週3回以上)	◎	全国 市	71.7 80.0	8.3	◎	全国 市	76.5 79.5	3.0
5	自分によいところがあると思う	◎	全国 市	86.9 89.8	2.9	◎	全国 市	86.2 88.2	2.0	13	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	○	全国 市	80.3 80.3	0	△	全国 市	77.7 74.9	-2.8
6	先生は、よいところを認めてくれている	◎	全国 市	92.2 93.4	1.2	○	全国 市	92.2 92.3	0.1	14	国語の勉強が好き	△	全国 市	58.3 53.6	-4.7	△	全国 市	57.9 56.2	-1.7
7	将来の夢や目標を持っている	◎	全国 市	83.1 84.5	1.4	◎	全国 市	67.5 69.6	2.1	15	算数(数学)の勉強が好き	△	全国 市	57.9 54.6	-3.3	◎	全国 市	53.8 57.3	3.5
8	いじめは、いけないことだと思う	○	全国 市	97.2 97.7	0.5	○	全国 市	95.9 96.4	0.5										

- 「早寝・早起き・朝ご飯」については全国平均を上回った。小・中学校ともに概ね良好である。
- 家庭で学習のためにICT機器を1時間以上使う割合は、小学校で全国平均を大きく上回っている。
- 「自分にはよいところがあると思う」の項目は、小・中学校ともに全国平均よりも高い割合となっている。
- 「先生は、よいところを認めてくれる」が、小・中学校ともに9割を超えており、教師の肯定的な評価、声掛け等が児童・生徒の自己肯定感を高める一因となっていることが分かる。
- 「将来の夢や目標を持っている」の割合が、小・中学校ともに全国平均を上回っている。
- 「いじめは、いけないことだと思う」「人の役に立つ人間になりたい」という項目は、小・中学校ともに全国平均より高く、健全で良好な意識をもっていることが分かる。
- 「学校の授業時間以外に普段(月～金)1日当たり1時間以上勉強する」について、小学校では全国平均を上回っているが、中学校では大きく下回っている。家庭で1時間以上学習する割合が中学校において、小学校よりも減少している点は課題だといえる。
- 「授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用している(週3回以上)」について、小・中学校ともに全国平均を大きく上回っている。
- 「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」について、中学校では全国平均を下回っている。
- 「国語・算数(数学)が好き」については中学校数学は上回っているが、それ以外は下回っている。